

平成 21 年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野
 (建築物外皮による空調負荷低減等技術) の運営全般に対する意見

団体・企業名	フリガナ (全角)	オオサカフカンキョウノウリンスイサンソウゴウケンキョウシヨ
	漢字 (全角)	大阪府環境農林水産総合研究所
担当者所属・役職	フリガナ (全角)	キカクチョウセイブ ケンキョウチョウセイカ
	漢字 (全角)	企画調整部 研究調整課
担当者名	フリガナ (全角)	ヤマゾエ タイイチ、ウメモト タカシ
	漢字 (全角)	山添 泰一、梅本 敬史
住所	〒537-0025 大阪市東成区中道1丁目3-62	
電話番号	06-6972-7634	
FAX 番号	06-6972-7684	
メールアドレス	YamazoeT@mbox.pref.osaka.lg.jp	
意見 1	内容	<p>【環境省の事業 HP について】</p> <p>実証済みの技術一覧を環境省の事業ホームページに掲載されているが、実証結果が分かりにくい。</p> <p>報告書とデータの公表だけでなく、知識の乏しいユーザーが容易に技術内容を理解できる工夫を検討いただきたい。</p> <p>◆改善案</p> <p>① 掲載データを見やすく、印刷しやすくする (PDF ファイル添付など)</p> <p>② データの解釈・評価結果 (無理なら評価方法) を記述</p> <p>③ 企業HP・技術紹介パンフへのリンク</p>
	理由*	<p>① データを示した表が横に長すぎて見辛く印刷にも適していないので、表を PDF ファイルとして簡便に表記し、詳細は報告書からと用途区分した方が良いと思われる。</p> <p>② データ数値の羅列、結果報告書だけでは、技術に精通していないと数値の意味を正確に理解することは困難で、解釈が独り歩きするおそれあり。</p> <p>①の PDF ファイルに技術の解釈・評価結果などを併記してはどうか。</p> <p>② ユーザーの関心は電気料金をどれだけ削減できるかと思われる。算出結果を kWh/年で表記されているが、一般の人が見ても効果をつかみにくいため、記載方法を工夫できないか検討いただきたい。</p> <p>③ 環境技術開発者のメリット性を向上するため。</p>

意見 2	内容	<p>【メリット性の向上について】</p> <p>実証試験結果の公表とロゴマークの交付だけでは、企業としての事業戦略上のメリットが低く、技術の普及に繋がりにくい。更なるインセンティブの付与を検討すべきと考える。</p> <p>◆改善案</p> <ul style="list-style-type: none">① 技術認証・認定制度の導入② 特に優れた技術を区別して発表（大臣表彰など）③ 上記技術を次年度に購入・適用等して実証⇒結果を公表
	理由	<p>手数料負担に対して、そのメリット性（費用対効果）が小さいと認識されるケースが多い。</p> <p>ロゴマーク付与と PR だけではなく、優れた技術を積極的に選定し、大臣表彰や公的施設に適用するなど具体的なメリット性の向上とインセンティブ付与が望まれる。</p>

*可能であれば、根拠となる出典等を添付又は併記して下さい。